

## 緑化啓発作品コンクール 審査講評

### 総評

- ・熱心に取り組んで魅力的な作品に仕上げしており、どれも素晴らしい作品なので、選考に苦慮した。
- ・単に美しかったり技術的に優れているだけでなく、「森林づくり」や「緑化運動」としての思いが表現されている作品を選定した。また、ポスター、チラシという啓発媒体にふさわしい作品を選定した。

### 標語

最優秀賞・北海道知事賞

作品「育てよう 優しいその手で 未来の木」 士別市立朝日中学校3年 藤吉 姫楽

- ・「優しいその手で」という言葉に苗木を植えている風景が思い浮かび、樹木を育てようという思いが伝わってくる。

### ポスター原画

小学校の部 最優秀賞

画題「大きな木」 むかわ町立宮戸小学校6年 磯部 田

制作意図「水の流れを考えてかきました。自然がしぶんたちの生活をささえているということを考えました。」

- ・水の循環や樹木の生長を勉強していて、工夫して物語風に描かれている。
- ・樹木と動物の共生が描かれており、また相対的に人間が小さく描かれているのが面白い。

中学校の部 最優秀賞・北海道教育長賞

画題「はじまり」 浜中町立茶内中学校3年 伊藤 七珠

制作意図「一つの種子から、森林が構築される様、将来を描きました。」

- ・丁寧に描かれており、苗木を愛しむ優しいイメージが表現されている。
- ・手に乗せられた新芽が際立つコントラストがあるとより良かった。

高等学校の部 最優秀賞・北海道知事賞

画題「作り上げる自然」 北海道富良野緑峰高等学校2年 伊藤 愛梨

制作意図「ピースのはまっていない枯れている所に緑のあるピースをはめている様子を描いて『緑を作り上げていこう』ということを表現しています。」

- ・ジグソーパズルを組み立てる手に、森林づくりへの思いが感じられる作品。
- ・枯れている樹木が緑によみがえってくることに希望を感じさせる。

中学校の部 優秀賞・北海道森林組合連合会会長賞

画題「家族の木」 千歳市立東千歳中学校1年 佐々木 聖愛

制作意図「木は家族とともに成長していきます。」

- ・親から子、人間から動物まで、世代や種の違いを越えて木とともに生き、森林づくりが続いていくことを感じさせる。

注：「制作意図」は作者が記述して作品に添付したものです。